



横浜 FC と連携！

市内在住外国人へ「やさしい日本語」での広報を強化します！

横浜市では、令和5年中に在住外国人が 9,000 人以上増加し、現在、過去最多となる約 11 万 6,000 人の方々が暮らしていることから、これまで以上に必要な情報をわかりやすく提供することが求められています。

このたび、「横浜スポーツパートナーズ」の一員で、日本語学習に熱心な外国籍選手が多数在籍する横浜 FC に、「やさしい日本語」による窓口案内用「指さしシート」や普及動画を作成していただきました。これらを活用し、在住外国人への広報を強化していきます。

◆「やさしい日本語」とは

外国人(日本語を母語としない、日本語を学び始めた人)にもわかりやすい、簡単な日本語のことです。災害時などにも速やかな情報発信が可能です。

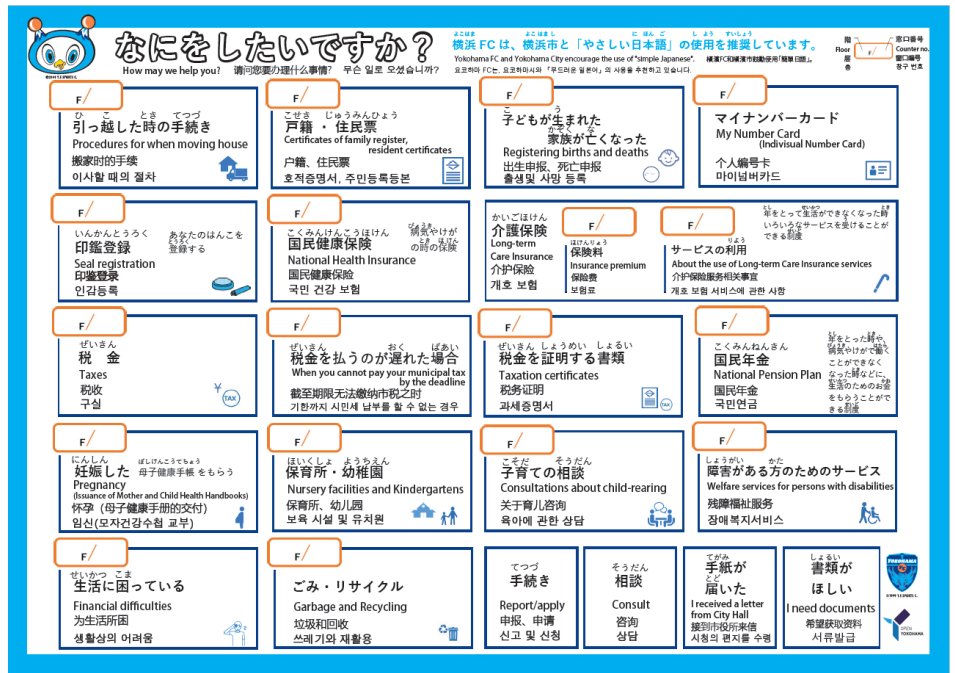
<例> 高台に避難してください → 高いところに逃げて！

1 「指さしシート」-増加する外国人へのコミュニケーションツールを強化-

外国人の方などが区役所へ来庁した際に、総合案内窓口で用件を職員に伝えやすくするための「指さしシート」です。「やさしい日本語」と3言語(英語、中国語(簡体字)、ハングル)、イラストで区役所の業務内容を記載しています。

引っ越しシーズンなど区役所への来庁者が増える時期に、スムーズなご案内の一助とするためのアイテムです。

シートには横浜 FC オフィシャルクラブマスコット「フリ丸」が登場し、親しみやすいデザインとなっています。



2 「やさしい日本語」普及動画 -市民の方へ「やさしい日本語」の理解を-

市民の方に「やさしい日本語」を知っていただき、取組を普及するための動画です。横浜 FC の選手が出演しています。

4月4日(木)10 時に横浜市公式 YouTube チャンネルで公開します。

<https://www.youtube.com/watch?v=o3V0BZHsU4w>



▲横浜 FC ユーリ ララ選手

(裏面あり)

3 職員向け研修の実施

令和6年3月8日(金)に横浜市職員を対象に実施した「やさしい日本語」研修で、横浜 FC の元選手で C.R.O の内田智也氏をゲストとしてお招きしました。当日は、外国籍選手とのコミュニケーションなどについてお話いただきました。また、選手ヘインタビューした動画も放映しました。(研修の写真提供可)

今回の研修は定員を超える応募がありました。令和6年度も職員研修を行い、「やさしい日本語」での情報発信の研鑽に努めていきます。



▲横浜 FC C.R.O 内田智也氏

横浜 FC C.R.O 内田 智也氏



©YOKOHAMA FC

高校卒業後、横浜 FC に加入しプレー。「ハマのプリンス」「ウッチー」の愛称でサポーターからも愛され、2004 シーズンからは背番号 10 をつけてプレーしました。引退後、2017 年 9 月から横浜 FC 事業部へ入社し、2021 年からは C.R.O(Club Relations Officer)に就任され、クラブの顔として活動されています。

「やさしい日本語」普及動画に出演した横浜 FC の選手 (写真提供:横浜 FC)



ユーリ ララ選手
出身地:ブラジル
(在籍2年目)



ガブリエウ選手
出身地:ブラジル
(在籍4年目)



グエン コンフオン選手
出身地:ベトナム
(在籍2年目)



武田 英二郎選手
出身地:神奈川県
(在籍7年目)

◆「やさしい日本語」の取組紹介

横浜市では「やさしい日本語」の基準『やさしい日本語で伝える分かりやすく伝わりやすい日本語を目指して』(第4版)』を平成25年度に発行しており、以後積極的な取組を続けています。

【参考】やさしい日本語での情報発信について(市ウェブサイト)

<https://www.city.yokohama.lg.jp/lang/residents/ej/daiji/kijun.html>

◆「横浜スポーツパートナーズ」とは

横浜を本拠地とする 7 競技 13 のトップスポーツチームによる連携・協働体制です。「横浜スポーツパートナー」となっていたいただいたトップスポーツチームと横浜市中で、スポーツ振興や地域活性化などにつながる様々な取組を進めています。

お問合せ先

政策経営局広報課長 大澤 浩希 Tel 045-671-2300

株式会社横浜フリエスポーツクラブホームタウン・普及グループ 仲井 美幸 Tel 045-443-6592

※本件は、株式会社横浜フリエスポーツクラブ(横浜 FC)も同時リリースしています。